

第三回「グリーンフレンズフェア」が 開催されました

平成二〇年十一月三十日に「第三回グリーンフレンズフェア」が開催されました。

今回も、天気恵まれ、十一月末にもかかわらず、非常に暖かい中での活動を実施することが出来ました。

第三回となった今回の活動は、草刈りなどの管理活動ではなく、協議会の顧問である東京農業大学の濱野教授によって、新百合山手の公園・緑地にどのような植物が生育している、それらをどのように管理していくべきかといった観点でさつやま公園からふるさと緑地まで歩きながら講義をいただきました。

また、引き続きふるさと緑地にて「鳥の巣箱づくり」と「樹木のネームプレートづくり」が顧問の櫻井先生の指導のもと、万福寺子ども会の子供達を交えて行われました。普段使わないノギリ・金づちなどを持って、お父さん・お母さんと楽しそうに作業をしていたことが非常に印象的でした。作られた巣箱・ネームプレートはその場でふるさと緑地に設置されました。来年の春に鳥が住み出すのを静かに見守りましょう。

最後に今回も「森のコンサート」が開催されました。第一回活動・第二回活動と、ギター・デューオやヴォーカル&キーボードといったグループが演奏してくれていましたが、今回は少しおとなしく「弦楽四重奏」のグループが出演してくれました。森の中で静かに流れる音に、来場の皆さんも身を任せていたのではないのでしょうか。

今回の活動には、子ども会の参加者を含めて約七十人の方々が参加されました。今後も多くの方々参加できる活動を目指していきたいと思っております。



濱野先生による講演より抜粋

今日話をさせていただく内容に持続可能な公園の管理という話があります。

実際には、持続可能というよりは付き合い続けなければならぬ。要するに日本の緑は「野となれ山となれ」。広辞苑を引きますと、どこにでもなれという、やけつばちの代名詞みたいなものですが、実は日本の気候風土そのものです。何も生えていない土地であつても、そこに草が生えてきて野になります。やがてその中に木の小さいものが生えてきて、それが大きくなると山になります。野となれ山となれという言葉は実は日本の気候風土を表しているのです。

例えばヨーロッパやアメリカの西海岸では夏は非常に乾いたきれいな青空で乾燥しています。ところが冬は豊りで雨なのです。日本の気候風土とはまるっきり逆なのです。それは日本の気候風土は梅雨というものがあつますように、気温の上昇と共に降水量が多くなつてきます。つまり植物が育とうとする、その必要な温度が上がつてくると同時に水分が十分に供給されます。そのような状況で育たない植物はその場所が悪いです。土を剥いで無理やりやると植物は育たなくなります。それを育つ環境にするには、細かい表土が溜まるような条件を作つてあげると、そこに実生(みしょう)、ドングリが生え落ちて小さいものがちゃんと育ちます。そのような環境を作つてあげれば必ず育つてくれるのです。

ところがアメリカの西海岸とかヨーロッパでは冬に雨で夏は雨が少ない。つまり気温が上がつて雨が無かつたら、その土地はだいたい乾いてしまふ。ですから欧米の方たちは植物を育てるのに水をやらなければいけない、場合によっては土も作つてやらなければいけないという手間暇をかけて育てているのです。そのため欧米の方たちと日本人は植物に対する文化の状態が全然違います。

以前雑草刈りをやつたと思いますが、日本では草との戦い、植物との戦いになってしまいます。空間を管理する点でいつも私達が関わっていないと、実は数になつてしまいます。そこに持続可能というよりは、持続可能な限り付き合ひ続けるということが言えるのです。そのことも今日は歩きながら確認して頂ければと思います。ソダを作つて頂いて効果が出ていますし、周辺にまたアズマネザサですが、ちょうど白く見えるところに、シヨウという皮が付いています。この皮を集めて、また束ねてソダの補修をしておく、そのような循環をして頂ければ、それも一つの持続可能な資源の有効利用です。そういうことでこれからもこの緑地に末長いお付き合いをして頂ければと思います。今まで傾斜のあつた所に細かい土砂が溜まつて、そこに植物が生息してくるのがお分かり頂けると思ひます。

公園を利用される場合には

実施計画書と実施報告書の提出を

十月二三日に開催された新百合山手公園管理運営協議会役員会において、公園を町内会や子供会が主催する事業以外の事業については、事前に実施計画書を、事後に実施報告書を協議会宛に提出していただくこととなりました。これは、新百合山手の公園を皆さんに快適に使っていただくために、協議会としてどのような活動が行われているかを正確に把握するための措置です。

利用主催者にはお手数をお掛けしますが、ご理解ご協力のほど、宜しくお願い致します。

「麻生プレーパークを創る会」の

移動プレーパークが

万福寺さとやま公園で開催

これまで、九月・十月に開催されてきた麻生プレーパークを創る会が主催する「移動プレーパーク」が二月七日と三月三日にも万福寺さとやま公園にて開催されます。

麻生プレーパークを創る会では、子供達に自然の中で楽しむきっかけを与え、自分から様々なことに挑戦していく中で、自ら危険を察知する能力を得る為に、大人が最小限のサポートをしています。

九月の活動にも多くの参加者が見られました。皆さんも是非一度ご体験ください。

PHOTO

今後の公園管理運営協議会の活動について

これから年末・年度末と皆さんお忙しい時期が続くかと思ひます。協議会としても、来年の活動内容を検討していく時期となつてきました。

一月中旬に役員会を開催し、来年の活動内容を検討し、三月中旬を目処に協議会総会を開催し、その中で皆様に「報告させていただきたいと思ひます。」

日程等は役員会にて協議させていただきます、決定次第皆様にお知らせさせていただきます。

お知らせについては、新百合山手HP
(<http://www.shinyuriyamate.com/index.html>)
にも掲載しますのび「」覧ください。